



## インフルエンザのお話

医師 喜多村 美幸

今年は暖冬とも言われ、まだ厳しい寒さとまではいきませんが、ゆっくりと冬の気配が近づいています。寒くなると現れる厄介なアシ。そう、インフルエンザ!!今回はインフルエンザについてのお話です。

### ●インフルエンザとは?

インフルエンザは、インフルエンザウイルスが感染することで起こります。感染力が強く、爆発的な流行がみられるのも特徴です。症状は急な発熱、頭痛、関節痛、全身倦怠感のほかに、咳嗽、鼻汁、咽頭痛など一般的な風邪症状も伴います。発症1-3日で症状のピークをむかえ、1週間程度で自然に軽快します。

### ●合併症は?

多くは、上記したような一般的な風邪と変わらない症状ですが、脳炎、脳症など重篤な合併症を引き起こすことがあります。この合併症がなんで起こるかなど詳しい原因はまだわかっていません。意識がおかしい、痙攣を繰り返すなど、いつもと違う症状で気づかれることが多いです。しかし、非常に稀ですので、必要以上に怖がることはありません。

### ●受診のタイミングは?

インフルエンザには検査キットがありますが、この検査はタイミングが重要です。せっかく受診するのに、「発症から間もないので、検査をする時期ではない。」と言われた経験がある人も多いでしょう。この検査は、鼻汁内にあるウイルスを、抗体を用いて検出します。発症から間もないと検査に必要なウイルスの量が少なすぎて、陰性となってしまいます。(これを偽陰性といいます)。通常は12時間から24時間を超えると、検査に必要なウイルス量が鼻汁内に存在すると言われていますが、確定させるには24時間経過してからでもいいでしょう。また、発熱から48時間以内に治療が行われた場合は、投薬の効果は十分に得られます。

### ●予防方法は?

インフルエンザにはワクチンがあります。このワクチンは、世界の流行状況から、その年に流行すると思われるものを予想し、何タイプかある中から選んでワクチンにしています。なので、予想に反した場合は、予防効果が落ちる可能性があります。しかし、ワクチンの効果は予防するというだけでなく、罹った場合に症状を軽減する効果があります。特に、6か月未満の乳児や高齢者のいる家庭では、外に出ていく人は積極的に接種することをお勧めします。

また、通常の風邪と同じように、マスクの着用、帰宅後のうがい、手洗いなど一般的な予防策は徹底しましょう。流行期に人ごみに行かないなど、感染者との接触を極力抑えることも重要です。

### ●罹ってしまったら...

インフルエンザには、内服、吸入、点滴の治療薬があります。主に内服と吸入を使います。点滴は、痙攣を起こしたなど、重症の患者に使用します。どの薬も効果にほとんど差はありません。また、一般的な発熱と同じように、水分摂取を心がけ、安静にしましょう。インフルエンザには登園・登校について制限がありません。周りにうつさないためにも、出席停止期間を守りましょう。

### ⚠️ 重要なお知らせ ⚠️

午前0時から午前8時までの受診方法が変わりました。

この時間帯は救急車搬入の患者、大分県こども救急電話相談 (#8000) より、緊急度が高く重症と判断され、当院へ紹介された方のみ診察をおこないます。

#### 《 大分県こども救急電話 相談事業 》

TEL 097-503-8822

#8000 固定電話 (プッシュ回線対応)  
(中津市を除く)

携帯電話対応

相談時間: 平日

午後7時~翌朝8時

日・祝日

午前9時~午後5時

午後7時~翌朝8時

# 感染症について知ろう！！③ ～ノロウイルス感染症～

「感染性胃腸炎（いわゆる嘔吐下痢）」の原因となるウイルスの一種で、毎年11月～2月に流行します。家庭での対処法や、家族に感染しないための正しい処理方法についての解説です。ぜひ参考にしてください。

## <症状>

吐き気・嘔吐・下痢・腹痛・発熱（ノロウイルスでは軽度のことが多い）。脱水を起こすことが最大の問題であり、下痢は数日～1週間ほど続きます。



## <治療>

安静にして吐き気が落ち着いているときに少量から水分補給を行います。また症状に応じて整腸剤や吐き気止めを使います。嘔吐がひどく水分がとれず、ぐったりしてきた場合は脱水の可能性もあるため点滴をします。

## <家庭で出来る看護>

嘔吐や下痢によって水分が奪われるため、吐き気が落ち着いたら水分を少しずつとらせるようにしましょう。

1さじずつを数分おきに与えて吐き気が無いかを見てから増量していきます。急に増やさず、20～30ml程度増やすと良いでしょう。

下痢によって皮膚トラブルが起きやすくなります。シャワーなどで清潔にしましょう。手洗い・うがいをしましょう。

## <自宅で嘔吐した場合の処理方法>

- ① 吐物や便を処理するときは、使い捨ての手袋・エプロン・マスクを着用し、ペーパータオル等（新聞紙でもよい）で拭き取ります。
- ② 拭き取った後は、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系の漂白剤。使用にあたっては必ず「使用上の注意」を確認しましょう。）で浸すように床を拭き取り、その後水拭きします。
- ③ おむつ等は速やかに閉じて便を包み込みます。掃除に使用したペーパータオル等もビニール袋に入れて密閉し破棄します。

\*ウイルスは乾燥すると空気中にたどよい、感染を引き起こすため乾燥しないうちに速やかに処理し、十分に換気をしましょう。患者が使用した食器は熱湯（80℃以上で1分以上）や次亜塩素酸ナトリウムを用いて洗浄し、洗濯物については高温（80℃以上）のお湯に浸してから、洗濯をしましょう。

### ☆年末年始休診のお知らせ

12/30(水)午後～1/3(日)

休診期間中も救急の患者様には対応いたします。受診される際はお電話を下さい。

☎097-567-2311（救急）



### 受付時間のご案内

午前 09:00～11:30  
午後 14:00～17:30

#### 受付終了時間の間際

午前 11:00～11:30  
午後 17:00～17:30

は混み合います。早めの受診をおすすめいたします。

※急患の方は救急（夜間・休日）専用番号にお話ください。

TEL097-567-2311

### ★医療費預かり金制度導入のお知らせ★

平成27年12月1日より0時以降から8時までの診療費につきましては、当日会計ができないため診療費の一部として下記の金額をお預かりすることとなりました。保険証、各種医療証をご持参下さい。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

保険証を持ってこられた方・・・5,000円  
保険証を持ってこられなかった方・・・10,000円

## 12月

## 各専門外来の予定

日	月	火	水	木	金	土
		1 皮膚科 小児外科 神経発達外来(石原)	2 皮膚科 アレルギー外来 腎外来(桑門) こども心外来	3 皮膚科 アレルギー外来 神経外来(岡成)	4 皮膚科 小児外科 アレルギー外来	5 皮膚科 内分泌外来(岩田)
6	7 皮膚科 小児外科 神経発達外来(石原)	8 皮膚科 小児外科 アレルギー外来 神経発達外来(石原)	9 皮膚科 小児外科 アレルギー外来 腎外来(桑門)	10 皮膚科 小児外科 アレルギー外来	11 皮膚科 小児外科 アレルギー外来	12 皮膚科 泌尿器外来
13	14 皮膚科 小児外科 神経発達外来(石原)	15 皮膚科 小児外科 アレルギー外来 神経発達外来(石原)	16 皮膚科 小児外科 アレルギー外来 腎外来(桑門) こども心外来	17 皮膚科 小児外科 アレルギー外来 内分泌外来(井原) 神経外来(岡成)	18 皮膚科 小児外科 アレルギー外来	19 皮膚科 小児外科 循環器外来
20	21 皮膚科 小児外科 神経発達外来(石原)	22 皮膚科 小児外科 アレルギー外来 神経発達外来(石原)	23	24 皮膚科 小児外科 アレルギー外来	25 皮膚科 小児外科 アレルギー外来	26 皮膚科 泌尿器外来 腎外来(田中)
27	28 皮膚科 小児外科 神経発達外来(石原)	29 皮膚科 小児外科 アレルギー外来 神経発達外来(石原)	30 皮膚科 小児外科 アレルギー外来	31	※各専門外来は完全予約制になります。ご希望の方は受付またはお電話でお問い合わせください。 青…午前のみ 桃…午後のみ オレンジ…終日	